

2013 年 5 月 21 日

観光シーズンに伴う犯罪増加のご注意（大使館からのお知らせ）

昨今ボスニア・ヘルツェゴビナの主要観光地において観光客数が増加していることに伴い、観光客を標的とした犯罪も増加傾向にあります。特にスリに関しては被害が後を絶たず、今年4月に入ってから邦人観光客のスリ被害が立て続けに発生している状況です。滞在時は以下の事項に十分ご注意くださいよう、お願い申し上げます。

1. スリ、置き引き

（1） スリはグループで行動しています。

スリの多くはグループで行動しています。彼らは主に、路上や公共交通機関内で、一人が被害者に身体を密着させたり、ぶつかったりして注意を逸らしている間に、もう一人がポケットやバッグから貴重品を盗む、という手口や、観光スポットの有名な場所や施設、レストラン等で一時的に置いた荷物を盗む、といった手口を使っています。スリの中には熟練した者もあり、盗まれたことに気付かないことも多く、また、スリの被害に気付いたとしても、スリは盗んだ物をすぐに他の仲間に手渡し、所在をわからなくさせてしまいます。

（2） 女性のスリにも注意

スリの中には女性もあり、見た目は普通の格好をしているため注意が散漫になります。不必要に接近してくる、といった人間には注意が必要です。

（3） スリは財布をしまう場所を確認しています。

スリは、お店等でお金を支払った後、どこに財布をしまうか等も確認しています。貴重品は盗まれることの無いような場所にしまう、小分けにする等の対策をする他、現金を引き出す際、財布を出す際は周囲に気を配り、安易に貴重品の保管場所を悟られることのない様ご注意ください。

（4） 子供に物乞いをさせ、その隙に犯行に及びます。

彼らは子供にしつこく物乞いをさせ、注意が緩慢になっている間に犯行に及ぶ手口も用いています。子供のみならず、物乞いの行為は実際に寄付を求めているわけではなく、スリの対象を捜しているにすぎませんので、このような物乞いに寄付を求められても決して応じることのない様にして下さい。

(5) 肩に掛けたリュック、カバンが背中側にある時は非常に危険。

スリの中には熟練した者もあり、昨今では背中に背負っていたリュックや肩から掛けていたカバンのチャックを気付かない内に開けられ、貴重品を盗まれる被害も相次いでいます。徒歩にて観光している間もこのような被害に遭わぬ様、カバンを持つときは背中側等死角になるような場所を避け、目の届く身体の前側に持つようにし、またチャックは容易に開けられないよう鍵を付ける等の工夫をすることをお勧めします。

(6) 銀行やA T Mで現金を引き出す際も注意。

銀行やA T Mで現金を引き出す際も注意が必要です。先にも述べるように、犯罪者達は旅行者が銀行やA T Mでいくら引き出し、それをどこにしまい、どこに向かうか等も監視しています。貴重品は盗まれることの無いような場所にしまう、小分けにする等の対策をする他、現金を引き出す際、財布を出す際は周囲に気を配り、安易に貴重品の保管場所を悟られることのない様ご注意ください。

(7) 団体行動中は特に注意が必要です。

団体ツアー等に参加する邦人観光客がスリの被害に遭うケースが多発しています。多くの方が団体行動というだけで安全が確保されているものと考え、油断していることが原因の一つです。団体行動している中に紛れ込み、犯行を行う者もおりますので、決して油断することのないよう、お互いに目を光らせて注意を払うことが必要です。観光シーズンの間、警察官が巡回している観光スポットもありますので、万が一このような被害に遭ってしまった場合は、大声を出して周囲の気を引き付けるようにして下さい。

なお、モスタル市内の観光地であるスターリ・モストを含む旧市街でのスリ被害が多く発生しておりますので、同市内の滞在時には十分注意して下さい。

(8) 貴重品を置いたままにしない。

貴重品を滞在先の室内に置いたまま外出し、窃盗の被害に遭うケースも発生しています。現金のみならず、パスポート、クレジットカード類、携帯電話、カメラ、貴金属品等、貴重品はホテルには置かず、少しの外出でも必ず携帯するようにして下さい。また、窓から室内に侵入され、被害に遭うケースも発生していますので、外出の際は必ず窓も施錠して下さい。

2. 強盗被害の発生

昨年サラエボ市内において、日本人観光客がナイフで脅され、A T Mにて現金を引き出すよう要求され、引き出した現金を奪われる強盗事件が発生した他、強盗犯の脅迫・要求

に抵抗した邦人観光客が暴行を受けて、手術を伴う大怪我を負った事案が発生しています。また過去には、親しげに話しかけてきた現地の人間に睡眠薬入りの飲み物を振る舞われ、意識を失った後に貴重品を奪われる睡眠薬強盗の被害も発生しています。

スリほどの被害件数はありませんが、**夜間や人気のない場所**で、武装した強盗などの被害に遭うケースも発生しています。これらの被害に遭った場合は、**むやみに抵抗しない**ようにし、その後警察で犯人を特定できるよう、相手の人相、着衣等を記憶するよう努めて下さい。彼らの多くは前科があり、警察にマークされている者もいます。また、被害を最小限にするため、**金銭を小分けにする**等の対策を行うことも有効です。昼夜を問わず、人気の無い場所は避けることはもちろん、旅行者はできるだけ単独で行動せず、グループで行動するよう心掛けて下さい。

3. 車上荒らし

当地にてレンタカー等を使用し、車を離れる際、わずかな時間でも貴重品は車内に放置しないように心掛けて下さい。また、車の窓を壊され、車内を物色される原因にもなりますので、貴重品等が入っていないバッグ等も同様に、何も車内に置いておかないように注意して下さい。駐車場等においては、周囲に不審者がいないか確認をお願いします。

4. その他

(1) 観光シーズンに加え、現在ボスニアでは不景気の影響もあって、スリ等の犯罪件数が増加しています。親しげに声を掛けてくる者やしつこく言い寄ってくる者等に安易について行ったりしないよう、注意して下さい。

(2) 当国においてパスポートを紛失した場合、当館まで自助努力にて来館頂くこととなり（観光地モスタル、バニャ・ルカから首都サラエボまで車で2～3時間）、更に新規パスポートの発給までに、当館においては数週間程度を要します（要件が揃えば渡航書を可及的速やかに発給することも可能ですが、この場合、旅行の継続は不可能となり、当国より直接日本にご帰国頂くこととなります）。パスポートの紛失・盗難には十分ご注意頂きますようお願い致します。

その他、「こんな危険な目に遭った」など、安全に関する情報がありましたら、当館までお寄せ下さい。